SDGs for School　SOTO ZEN

SDGs for School produced by Think the Earth × 曹洞禅

⑩

The Fourth Year

新年、明けましておめでとうございます。「SDGs for School×曹洞禅」の連載は、5年目に入ります。お寺に立ち寄ってみると、『てらスクール』が置かれていることがあり、住職にお声がけすると、記事についてコメントをいただくことがあり、活動の認知度が高まっていることを感じます。

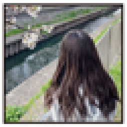
認知度といえば、この連載のキーワードであるSDGsに関する最新の調査では、88・7%の人々がSDGsを聞いたことがあると回答しています（第10回SDGs認知度調査、朝日新聞調べ）。SDGsの知識や関心は若い世代で高く、商品購入やサービス利用の際、SDGsを意識する行動が増えていて、教育やSDGsに関する発信の効果であると報告されています。この活動も、微力ながら貢献できていると信じています。

さて、SDGsを意識する行動について、今年はどうしていきましょう。SDGsの前身であるMDGs（ミレニアム開発目標）は、2015年までに極度の貧困と飢餓の撲滅を目指し、8つの目標を掲げ、一定の成果をあげました。その内容は、SDGsに引き継がれ、今は17の目標があります。SDGsは2030年をゴールにしていますから、いよいよあと5年。未解決の課題は継続しつつ、次の目標を意識することも大切です。新しい目標と行動、つまり価値創造について考えるにあたり、過去にも激動の時代がありましたので歴史を参考にできると思います。先人は何を考え、どのような行動を選択してきたのでしょう。今年は、仏教の教えや、関心がある歴史、文化に目を向け、2030年より先の未来のテーマを探す1年にしてみませんか。

○るーな・高校2年生

私は最近、学校でのいじめや不登校の深刻化を受け、こども家庭庁がプロジェクトチームを発足させた、というニュースを知りました。記事によると、いじめの件数

は年々増加しており、今年も過去最多を更新したということです。実際に私も過去にいじめの気づきにくさを体験し、いじめの解消の難しさに突き当たったことがあります。その難しさにこども家庭庁のプロジェクトチームがどう向き合い、児童生徒を守っていくのか、これから注目していきたいと思いました。また、私の新年の小さな一歩は、こども家庭庁の「いけんぷらす」メンバーとして政府が若者に対して行っているアンケートに答え、よりよい社会作りに参加することです。「いけんぷらす」は、小学1年生から20代の若者が誰でも意見を表明できる場です。Ｗｅｂサイトで簡単に登録でき、メール配信からのアンケートに答えたり、オンラインや対面のイベントで自分の意見を実際に家庭庁の職員に話すこともできます。気になった方はぜひ調べて登録してみてください！



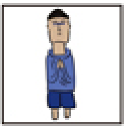
○ののは・高校1年生

新年を迎えるにあたり自分の昨年を振り返ってみたところ、ＳＮＳに触れる時間がとても多かったと感じました。ある調査の結果でも、最近の高校生の1日あたりのＳＮＳ平均使用時間は6時間を超えていたそうです。

　そんな中、ＳＮＳがＳＤＧｓ解決にも悪影響を及ぼしているというニュースを目にしました。また、ＳＮＳ上の誤情報により問題解決が遅れてしまうことが、被災地でも問題視されているそうです。実際の例では、偽の被災情報が拡散され、通報を受けた救助隊がその住所へ向かってしまったトラブルもあったそうです。それが無ければ、他に救える命があったかもしれません。私自身も、ついＳＮＳに情報を求めてしまいます。そんな中で知らず知らずのうちに誤情報を鵜呑みにしてしまったこともあったかもしれません。

　新年に新しく始める一歩は、必ずしも大きなプロジェクトである必要はありません。自分の身の回りを振り返り、自分が普段使っているＳＮＳなどのツールの利用の仕方が、社会問題解決やＳＤＧｓ達成に悪影響を及ぼしていないか、

メディアリテラシーも含め考えることから始めてみたいと思います。みなさんも、まずは身近なことから見つめてみませんか？



○たろう・高校1年生

みなさん、放置竹林を知っていますか？ 竹は急速に成長し、1週間も経たないうちに驚くほど大きくなります。このため、竹林の管理が行き届かず、放置されることが増え、放置竹林という深刻な問題が現在進行中です。この放置竹林が問題となっている鎌倉で、竹を使って紙を作り、それをトイレットペーパーに転用する取り組みが始まったというニュース記事を見つけました。このプロジェクトはまだ始まったばかりで、知名度は低いものの、着実に活動を続けることで、徐々に認知が広がり、社会にも大きく貢献できると感じています。昨年を振り返ると、私自身、プロジェクトを通じて竹と深く関わる機会が多かったように感じます。SDGsの「作る責任、使う責任」に基づき、急速に増えた竹を有効活用してものづくりを行い、社会にあまり知られていない放置竹林問題を広めることを目指しています。今年も地道に学びとプロジェクト活動を重ね、より充実した一年にしたいと思います。

○あおい・高校1年生

今年の干支は「巳」、へびどしです。蛇は日本では嫉妬や執着などの意味を持ち、忌み嫌われる存在として描かれがちでした。しかし仏教の世界で蛇は「竜王」として四天王に名を連ねる大切な仏法の守護神なのです。現在でも「ナーガ」という名で人々から崇め奉られており、水や天候の守護神とされています。お釈迦さまがお悟りを開く時にはナーガが守護したという伝説もあり、仏教と蛇の深い繋がりがわかります。そんな蛇にちなみ私の今年の抱負は「サステナブルな水の使い方」です。生きていく上で必要不可欠な水。しかし世界は今深刻な水不足の危機に直面しています。一滴一滴をどう使うのか、どう未来に繋げるのかを考える一年にしたいです。

協力：一般社団法人シンク・ジ・アース／新渡戸文化高等学校教諭　山藤旅聞